

大峰奥駆道(弥山、八経ヶ岳)山行記

紅葉を楽しむ

2017 年 10 月 8 日（日）～ 10 月 9 日（月・祝）

L：やまたくお、磯部 N、ハンブルクの星

2017 年 10 月 7 日（土）

前夜発で奈良の天川村川合村役場駐車場へ。既に数台停まっていた。早速テント設営して軽くビール吞んですぐに就寝。

第 1 日目 10 月 8 日（日）晴れ、時々曇り

少し雲はあるものの天気は良さそう。既に 10 月上旬だがこの日は気温も上がり暑い 1 日となった。手早く朝食を終えて 7 時過ぎに登山口を出発。登山届を提出する収納箱が見つからなかった。第 2 鉄塔辺りまで階段の多い樹林帯の中をひたすら登る。坪の内林道を横切って更に高度を上げると荒廃した避難小屋のある栃尾辻に出る。ここを通過してブナ林の多い箇所を過ぎると高崎横手の分岐に至る。ここから池の谷の沢そばに立つ狼平避難小屋まではすぐ。このあたりは既に紅葉真っ盛りの状態で、陽もさして美しかった。小屋の内部はまだ新しいから清潔できれいだった。山頂のテント場では水は有料なので各自 1 リットルずつ水を運び上げることにした。

狼平からは階段の多い急登が続く。荷も少し重くなったのでペースがやや落ち

たが、ブナとシラビソの樹林帯を抜けると弥山小屋が出てきた。3 連休とあって登山者が結構多かった。

小屋の周囲は既にテントが一杯なので見晴らしの良さそうな箇所にテント設営。そして早速ビールで乾杯！美味しい！！

この後、弥山山頂（1895m）に立つ。数年前に皇太子殿下も登頂されたとの記念の石碑があった。山頂の天川奥宮に参詣。時折ガスがかかるもののよく晴れていて向かいの八経ヶ岳も紅葉におおわれているのが望めた。

夕陽の絶景を期待したがガスが出ていて見られなかった。明日の天候が少々危ぶまれたが、夜は満天の星と煌々と輝く満月がくっきり見えたので、これなら明日のご来光は望めるだろうと期待して寝た。

「コースタイム」

7:20 天川川合登山ロスタート

10:20 栃尾辻 12:30 高崎横手の分岐

14:30 弥山小屋テント場到着



帰着。近くの天川の湯で汗を流した。

「コースタイム」

7:00 弥山小屋テント場出発 7:30

八経ヶ岳山頂、8:00 明星ヶ岳山頂

9:30 高崎横手の分岐通過、11:00 栃尾辻

13:30 登山口に戻る

(ハンブルクの星 記)

第2日目 10月9日（月・祝日） 雨。

なんと朝方から無常の雨。ご来光どころか周囲の展望も何も見えない状態が続き。朝食を済ませてテントを撤収し、八経ヶ岳を目指す。天然記念物のオオヤマレンゲを鹿の食害から護る防護柵を2か所通過して八経ヶ岳山頂（1915m）に立つもガスと霧雨の中で展望はゼロ。



それでも周囲の紅葉は雨にうたれて美しく、さすが大和大峰奥駆道と想わせる風情は満点だった。弥山辻手前の明星ヶ岳山頂（1894m）に立つ。このあたりは酸性雨の影響なのか若木なのに荒廃した樹木が多かった。自然破壊が心配だ。

蓮華道を経て日裏山（1725m）を過ぎて高崎横手出合の分岐を通過。ここからはどんどん下るという感じで一挙に栃尾辻まで下った。ここら辺りで天候は回復し、展望も得られるようになり陽も射してきた。登山口の天川川合まではだらだらした下りが続いたが、13時過ぎに

